

# 千葉学習センター客員教員による

## 「ミニゼミ」受講生募集！

「ミニゼミ」は放送授業や面接授業と違い、少人数で教員を囲みながら、各教員の専門分野をテーマに、発表、討論、実験、観察、課外活動など様々な学習スタイルで行われています。年齢や性別も異なる学生のみなさんが、指導教員のもと、共通のテーマを学びながら毎回楽しく活動しています。興味のあるテーマを学ぶとともに、他の学生や教員と交流していただくことも目的としていますので、試験や成績判定といったことはありません。2023年度10月期は9つのゼミで受講生を募集します。放送大学の学生であれば、どなたでも無料（一部ゼミは費用負担あり）で参加できますので、ご興味のある方は、是非お申込みください。なお、2020年度よりZoomを利用した遠隔ゼミを実施するゼミがありますので、ご自宅等のネット環境等をご確認願います。

【参加申込方法】 10月7日（土）14時から申し込みを開始します。

- ① 「ミニゼミ参加申請書」（千葉学習センターウェブサイトトップページ・ロビーなどで配布）に必要事項を記入のうえ、**学習センター窓口もしくはメールにてご提出下さい。**メールアドレスは「[chibagaku\\_soumu@ouj.ac.jp](mailto:chibagaku_soumu@ouj.ac.jp)」です。  
※原則先着順とし募集定員がオーバーした場合は、その時点で募集を終了します。また、電話、郵送等での受付は行いません。
- ② 申請書の提出後、学習センターより各講師へ申請書を送付し、講師から受講の可否について回答があり次第、センターより結果および次回開催日時をご連絡します。  
※掲載内容は、2023年10月7日（土）現在のものです。今後、定員に達した時点で募集を中止します。  
※見学も随時募集中です。気になるミニゼミがございましたら、お電話もしくはメールにて千葉学習センターまでお知らせください。

《千葉学習センター》 TEL: 043-298-4367 E-mail: <a href="mailto:chibagaku_soumu@ouj.ac.jp">chibagaku_soumu@ouj.ac.jp</a>
---

### 子どもを理解し、子どもに学ぶ（金子先生ゼミ）

○講師：金子 智栄子（文京学院大学教授）

○募集定員：10名程度

○開催日時：原則として、月末の金曜日午後 10月は27日（金）13～16時を予定

○内容：子どもは可愛いですが、それ以上に面白い存在です。特に年齢が低いほど見るものすべてが新鮮で、この世は発見に満ちています。よちよち歩きの子は、知的好奇心に満ち溢れたキラキラしたまなざしをもっています。そのようなまなざしを大人になっても持ち続けられたら、人生は幸せなことでしょう。乳幼児期の体験は、その後の発達にも大きな影響を与えます。そこで、乳幼児期からの子どもの発達について共に学び、子どもの素晴らしさを共有したいと思います。さらに受講生ご自身の発達についても、振り返る機会にしたいと思います。

○受講条件：状況によっては、参加者のご相談のうえテキストを使用することがあります。ゼミは教室での対面を原則としますが、Zoomを利用した遠隔で実施する場合があります。

### 物理の世界を探索する（小堀先生ゼミ）

○講師：小堀 洋（千葉大学名誉教授）

○募集定員：10名

○開催日時：原則として、月1回、主に土曜日あるいは日曜日 10月は7日（土）13～15時を予定

○内容：物理の知識で理解できるにも関わらず、意外に知られてないことが世の中に多く存在します。詳しい数式抜きでも理解できることが多いです。身の回りに溢れる不思議を、テーマごとに解説します。取り上げるテーマは、各回変わります。たとえば、低温現象では、以下のような現象を取り上げています。物質を室温より冷やすと、日常見慣れた性質が変化します。空気も液体になり、更に冷やすと、ミクロの世界を支配する量子現象が現れます。これらの現象の多くは、固体物理・化学の知識で理解することができます。しかし、未解決の問題も多く、新機能物質も次々と現れてきます。様々な測定手段の進歩によって、少しずつ理解が進んでおります。

○受講条件：受講条件は特にありません。ミニゼミでは、放送大学内の実験室を使い、簡単な工作、実験、観測も含めて学んでいきます。千葉・筑波の大学・研究所の見学も予定しています。なお、学外での野外活動がありますので、参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。ゼミは教室での対面を原則としますが、Zoomを利用した遠隔で実施する場合があります。

## 保健の授業を学び直す（高橋先生ゼミ）

○講師：高橋 浩之（千葉大学教育学部名誉教授）

○募集定員：10名程度

○開催日時：第1、第3水曜日の14～16時 10月は4日（水）と18日（水）の14～16時を予定

○内容：皆さんの多くは「保健」を中学・高校で受けた退屈な授業と考えているでしょう。しかし、実際には、新たな感染症から最新のがん治療、性についての自己決定から高齢者の健康、心肺蘇生法から医者のかかり方など、面白い上に人生の基盤になる内容を保健は扱っているのです。このゼミでは、高校の教科書を題材にその背景やさらに深い知識、また、発展的な内容に関してみんなで学んでいきます。

○受講条件：大修館書店の高校保健体育教科書「現代高等保健体育」（保体701）を教材とします。定価は705円です。教科書特約店でのみ売っているため、各自用意して下さい。

## 地層の縞模様から読み解く大地の成り立ちと地球環境変動史（伊藤先生ゼミ）

○講師：伊藤 慎（千葉大学名誉教授）

○募集定員：10名程度

○開催日時：原則として月1回、土曜日の13～15時を予定 10月は28日（土）に野島崎周辺の地質巡検を予定

○内容：地層には様々な形、厚さ、長さ、高さなどを示す縞模様が観察されます。このような縞模様は「堆積構造」とよばれ、地層を構成する粒子が運搬され堆積するまでの一連のプロセスの特徴が記録されています。したがって、堆積構造の特徴から地層を形成した流れの種類、方向、速さや強さ、深さや厚さなどの特徴を解読することができます。さらに、堆積構造の特徴から、地層が形成された堆積環境の変遷やその要因を解読することができます。このゼミでは、講義や文献の輪読、さらには室内実験や野外観察などをおして、「堆積構造」の特徴と形成プロセスの理解を深めるとともに、堆積構造から読み取れる大地の成り立ちや太古から現在に至る地球環境変動史の理解を目指します。

○受講条件：室内実験や地層の野外観察を行うため、学生保険の加入が必要となります。野外観察では、現地集合現地解散を原則として、千葉県内あるいは周辺地域の地層を主な観察対象とする予定です。ゼミの資料は適宜配付する予定ですが、以下の2冊を参考書とします。

（1）Geo ワールド 房総半島 楽しい地学の旅 mihorin 企画

（2）フィールドマニュアル 図説 堆積構造の世界 朝倉書店

## 音環境文化ゼミ（音の風景（サウンドスケープ）から地域、環境、社会、日常を見る）（兼古先生ゼミ）

○講師：兼古 勝史（立教大学社会学部メディア社会学科兼任教員、日本サウンドスケープ協会理事）

○募集定員：10名程度

○開催日時：未定（原則月2回程度で、第2学期は水曜日午後を基本とする予定ですが、参加学生と調整の上決定します）

10月は7日（土）と18日（水）の13時30分～16時30分を予定（場所は教員の研究室）

○内容：Soundscape（音の風景・耳で捉えた風景）を切り口に、「音」「耳（聞くこと）」を通して、地域や環境、社会や日常について調べ、体験し、表現します。今年度は、サウンドスケープについて学びつつ、各自が音風景をテーマにした録音（映像）作品づくりを目指しています（2024年1月の日本サウンドスケープ協会・設立30周年記念「心に残る音風景」動画コンテストへの作品提出を目指します）。また、番外編として野外等のサウンドスケープの体験ツアー（日帰り）なども不定期（自由参加）で企画する予定です。

○受講条件：パソコンの基礎的知識があることが望ましい（初心者レベルでOK）。録音機材は数台用意していますが、可能ならばPCM録音機等（数千円程度～）を各自が用意できることが望ましい。学外での野外活動がありますので、参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。

## ジェンダー・セクシュアリティを考える（片岡先生ゼミ）

○講師：片岡 洋子（千葉大学名誉教授）

○募集定員：10名程度

○開催日時：原則として第4木曜日に開催しています 10月は26日（木）14～16時を予定

○内容：ジェンダーとは、社会的・文化的につくられた性差のことですが、日本はジェンダー格差が世界ランキング125位であり、ジェンダー平等社会の実現が課題となっています。一方、セクシュアリティとは、性的アイデンティティ（自分の性をどう思うか）や、性的指向（好きになるのが異性か、同性か、両性かなど）を指しています。多くの人は心と身体の性が一致しており、そして異性を好きになりますが、心と身体の性が一致していない人や同性や両性を好きになる人などセクシュアル・マイノリティと呼ばれる人々がいます。ジェンダー平等とセクシュアリティの人々の権利保障は関連しあっています。文献を読みあってジェンダーとセクシュアリティについての日本と世界の現状と課題について考えていきます。

○受講条件：辻村みよ子『ポジティブ・アクション——「法による平等」の技法』（岩波新書、2011年）を古本で入手してください。主にZoomを利用した遠隔で実施しています。

## スペイン語とスペイン・ラテンアメリカの文化（青砥先生ゼミ）

- 講師：青砥 清一（神田外語大学教授）
- 募集定員：10～15名程度
- 開催日時：隔週土曜日14～16時（月2回不定期） 10月は14日（土）14～16時と28日（土）14時30分～16時30分を予定
- 内容：スペイン語の基本文法とコミュニケーションを学びながら、スペインとラテンアメリカの文化について語り合います。各回2時間のうち前半は、スペイン語の作文を練習します。後半は、動画を観ながらリスニングの練習をします。
- 受講条件：面接授業「ベーシック・スペイン語1」を受講済みか、またはそれに相当するスペイン語力（直説法現在）を有すること。ゼミは教室での対面とZoomを利用した遠隔のハイブリッド形式で実施します。

## 生活環境中のカビ（矢口先生ゼミ）

- 講師：矢口 貴志（千葉大学真菌医学研究センター准教授）
- 募集定員：10名程度
- 開催日時：土曜または日曜日の午後の2～3時間 10月は28日（土）に千葉大学真菌医学研究センターで実施予定
- 内容：月1回、講義のあと討論するセミナー、残りの時間は、それぞれが自由に観察、実験など行う。現在、予定しているテーマは以下の通りである。
  1. 真菌の分類体系
  2. Aspergillus の分類
  3. Penicillium の分類
  4. 室内環境のカビ
  5. 内臓真菌症原因菌
  6. 皮膚真菌症原因菌
  7. マイコトキシン
  8. カビが産生する有用物質
  9. 耐熱性カビ
- 受講条件：実験室で培養実験等も予定していますので、これらの活動に参加ご希望の方は学生保険への加入が必要です。

## 和声の修得と新旧の様々な作曲技法の紹介（山本先生ゼミ）

- 講師：山本 純ノ介（千葉大学教育学部元教授）
- 募集定員：10名程度
- 開催日時：火曜午後を予定
- 内容：それぞれの深度に合わせた和声を学びつつ、作曲の技法を知り、可能ならば実際に作曲を試みます。個人レッスン形式と授業形式を併用します。初歩的な曲の構造を知るために総合和声の後半、分析編を使用したり、プリントなどを用いて授業形式で紹介します。最終的にはカノンやインベンション、12音技法の作成方法を学び制作実践できるといいですね。
- 受講条件：自分で解答した和声や、制作した曲を弾いたりしますから、ある程度の読譜力、ピアノ演奏の素養（バイエル程度は経験していることが望ましい）が必要です。和声の以下の教科書を必ず用意してください。音楽之友社刊行の「総合和声・実技・分析・原理」（明るい黄色）を使います。さらに進度が進んだ方は個人に応じて教科書を指定します。和声の進捗状況はそれぞれの音楽経験により一定ではありません。

募集終了

## 薔薇学講座（御巫先生ゼミ）

- 講師：御巫 由紀（千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部植物学研究科長）
- 募集定員：10名程度（募集終了）
- 開催日時：月1回、土曜日の13～15時を予定  
〈年間予定〉
  - ・10月14日（土） 秋のバラ園見学 @佐倉草ぶえの丘バラ園
  - ・11月19日（日） バラの歴史1 オールドローズ @千葉県立中央博物館
  - ・12月9日（土） バラの歴史2 モダンローズ @千葉県立中央博物館
  - ・1月20日（土） 江戸時代のバラ1 @千葉学習センター
  - ・2月17日（土） 江戸時代のバラ2 @千葉県立中央博物館
  - ・3月9日（土） レポート発表会 @千葉学習センター
- 内容：園芸植物として長い歴史を持つバラについて、植物学、歴史、美術等あらゆる面から、バラの魅力を解説する。バラは西洋文化の象徴のように思われているが、約200年前にアジアのバラがヨーロッパに運ばれ、育種に用いられて初めて現代の栽培バラが誕生した。日本に16種類ある野ばらの見分け方、バラの育種において日本の野ばらが果たした役割、オールドローズとモダンローズの系統、日本のバラの歴史等について、教室での講義とバラ園の見学を合わせたゼミを行う。
- 受講条件：
  - ・野外実習を行うことがあるため、学生保険加入が必要。
  - ・『野ばらハンドブック』（文一総合出版）をテキストとして使用。
  - ・バラ園等でゼミを行う場合は入園料等が必要となる場合がある。